



# なのはな通信

24年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No. 13

平成24年10月15日

## 5年生パワフル 山の学習



お世話になった職員のみなさん



自然のなかで、協力力を高めた山の学習

### キャンプファイヤー

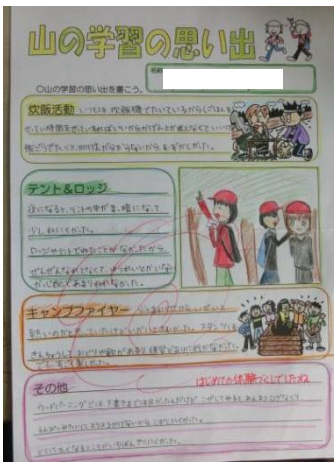
### 入所式とオリエンテーション



緑の木々の中を歩きながらおいしい空気を吸い、友だちと協力していろいろな活動をしました。少年自然の家の2泊3日の山の学習は、晴天に恵まれて大成功でした。



ウッドバーニング



ナイトウォーキング

奉仕活動



落ち葉スキー

フィールドアスレチック



# キャンプファイヤー 火の神の話 序章 《プロローグ》

私は、この須淵<sup>すぶち</sup>の山の奥に住む大神<sup>おおかみ</sup>である。人類の祖先は、今から260万年前、アフリカの大地に生まれた。さらに160万年前、南アフリカのスワルトクランスの直立猿人（ホモ・エレクトス）は、洞窟に住み、火を使うようになった。火を使うことを知った人類は、光熱としての明かりや暖を取るために大切に火を守った。

火は、食物を焼いたり煮たりするために用いられ、さらに人類を進化させた。やがて、氷河期が終わる1万年くらい前、現在の人類の直接の祖先であるクロマニヨン人があらわれ、そして、文明を築いた。やがて世界に四大文明が発達していった。今からここで使う火も人類が始めて使った火と同じである。中部の子らが暖かな火を囲み、楽しく踊りや舞を見せてくれるのは、仲間であることの証明である。さあ、今宵は、パワフルに仲間と協力し楽しい思い出をつくらうではないか！

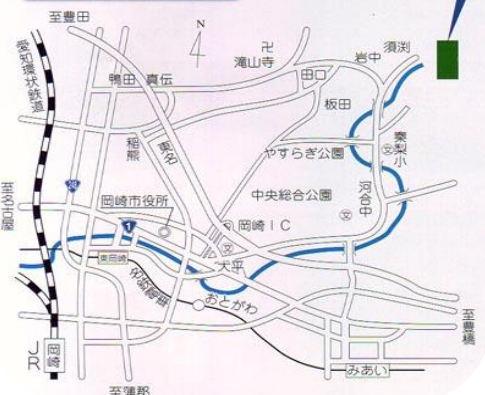
## キャンプファイヤー 火の神の話 終章 《エピローグ》

今宵は、楽しかった。一度目を閉じて、今日あったことを思い出そう。こうして、仲間と過ごしたことは、一生心の奥に刻みこまれるであろう。日々、家族に心配や、世話をかけていることを想い、どんな大人になりたいか、自分に問うてみてくれ。家族のありがたさは、ことばでは表されないほどだろう。人によさしく、自分に厳しく、さらなる高みを求めて、立派な大人になるのだ！このわしは、みな成長を須淵の山の奥からいつまでもいつまでも見ておるぞ！六ツ美中部の五年生が輝くことを祈って、さようならをしよう！

「団結」・「挑戦」・「協力」・「奉仕」の火を灯します。

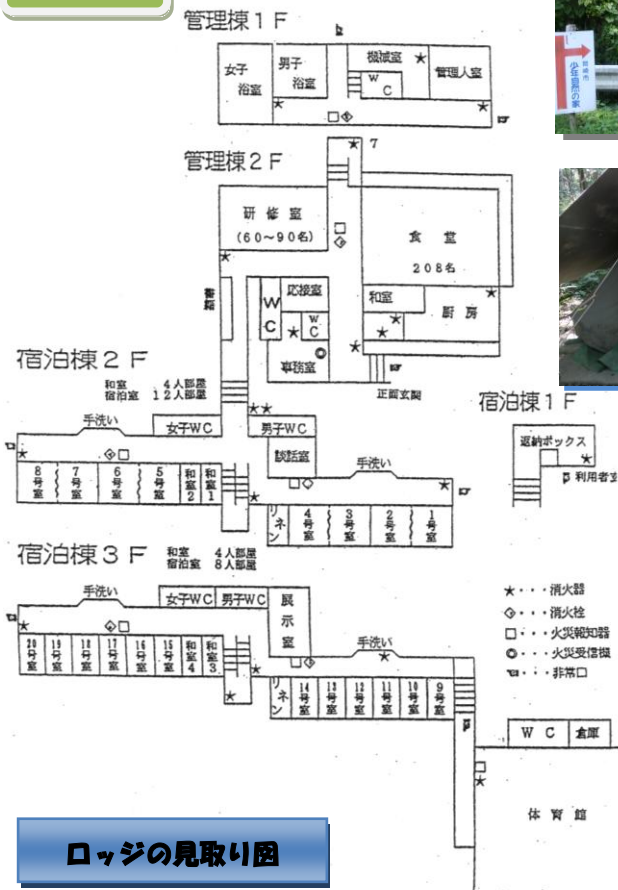
2012. 9. 26(水)～9. 28(金)

### 交通案内

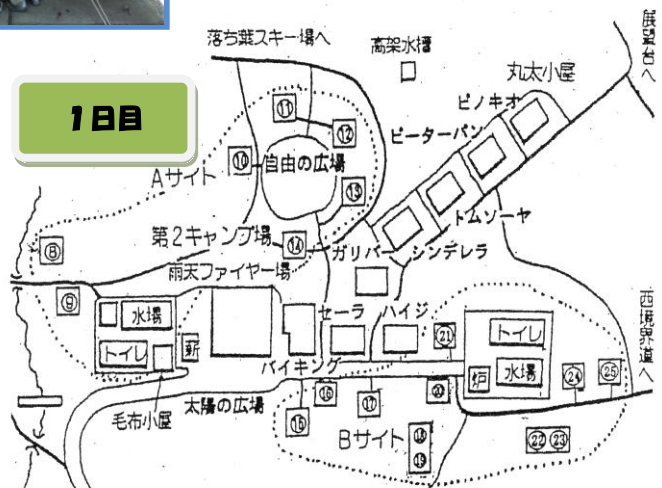


岡崎市少年自然の家

### 2日目



### 1日目



### ロッジの見取り図